

セーフコミュニティいずみおおつ

みんなでつくる
安全・安心なまち第
7
回

第2回対策委員会を開催

さまざまな意見が出され、
活発な議論となりました！

第2回分野別対策委員会開催
多数の委員などが参加

11月から活動を開始したセーフコミュニティの分野別対策委員会。12月に、第2回の会議を開催しました。

18日は「子どもの安全」・「犯罪防止」・「災害安全」、19日は「交通安全」・「高齢者の安全」・「自殺予防」の3対策委員会ずつの合同で開催され、延べ100人を超える委員などの皆さんが参加しました。



問題点を出し合い、課題を発表する委員たち

ワークショップ「日々の生活の中で感じる問題」

会議はワークショップ形式で、日本セーフコミュニティ推進機構の白石陽子代表理事と今

井久人事務局長の支援のもと、対策委員会ごとに2つのグループに分かれて、各分野に関して、日々の生活のなかで感じる「問題」について意見を出し合い、最後にグループごとに報告を行いました。

各グループとも協力しながら作業は進み、家庭や学校、交通マナーに関するものなど、さまざまな意見が出され、活発な議論となりました。また、意見交換を通して、委員の中には新たな気づきが見られたり、報告を通じて所属する対策委員会はもちろん、分野を越えて課題を共有することもできました。

ワークショップでは、主観的な課題とともに、統計データなどからみる客観的な課題についても議論していきます。



活発に議論する様子

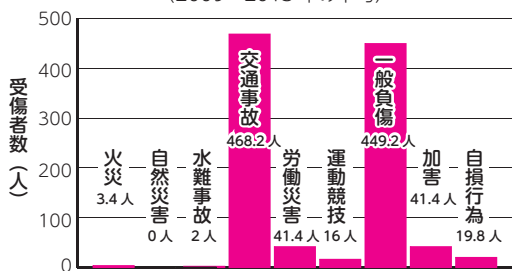
対策委員会のご紹介
「交通安全対策委員会」

交通安全対策委員会は交通安全協会や交通安全父母の会、警察など13人の委員で構成しています。

外傷による救急搬送のうち、本市では「交通事故」が最も多く（左図）、交通事故の発生件数や負傷者数も大阪府や全国に比べて多いこと、また、市民が不安に思う事柄の中でも「交通事故」は、上位にあることなどから本委員会が設置されることとなりました。

問合 危機管理課（市役所4階）

泉大津市における年間の外傷・事故別救急搬送人員
(2009～2013年の平均)



出典：救急搬送データ
(※急病・転院による救急搬送人員除く)

泉大津市のいろんな面を整理することができました

泉大津市をより安全なまちにしていけるため、さまざまな立場の方による協働の取り組みがいよいよ始まりました。

今回は、それぞれの立場から日ごろの生活の中で感じている問題点などを出し合い、整理しました。

大阪という土地柄もあるのでしょうか、参加された皆さんは場を盛り上げるのも上手で、活発にワークショップを進められました。そのおかげで、たくさんの意見が出され、泉大津市のいろんな面を整理することができました。次回が楽しみです。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

